

当館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設された。

穂別町立博物館は昭和 50(1975) 年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見が契機となり建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約 10 年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

### I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

#### 〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55(1980) 年 11 月 26 日＞

#### 〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2(1990) 年 6 月 27 日＞

#### 〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM- : HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

## II 沿革

- \* 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名義として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- \* 名称等は、当時のまま表記してある。

### 昭和 50(1975) 年

6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

### 昭和 51(1976) 年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

### 昭和 52(1977) 年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認された。

7月 5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

### 昭和 53(1978) 年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

### 昭和 54(1979) 年

5月：長頸竜化石骨が穂別町指定文化財第2号に指定される。

### 昭和 55(1980) 年

10月 16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

### 昭和 56(1981) 年

3月 13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

### 昭和 56(1981) 年

7月 -12月：博物館建設工事

9月 1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

### 昭和 57(1982) 年

1月 16日：長頸竜復元作業開始

3月 -6月：博物館展示工事

7月 20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8月 26日：「博物館協議会」発足

11月 1日：北海道博物館協会加入

12月 19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12月 19日 -1月 23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

### 昭和 58(1983) 年

3月 2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

3月 28日：「博物館協力会」設立

4月 1日：日本博物館協会加入

4月 28日：菅原康次（第二代）館長就任

7月 22日 -8月 7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」

8月 1日：全国科学博物館協議会加入

11月 1日 -3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

### 昭和 59(1984) 年

2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3月 27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6月 14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11月 1日 -4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」

12月 1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

### 昭和 60(1985) 年

3月 30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5月 1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）

11月 1日 -10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

### 昭和 61(1986) 年

10月 21日 -11月 9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

### 昭和 62(1987) 年

1月 1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7月 28日 -8月 9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

### 昭和 63(1988) 年

7月 17日：第三展示室（保存庫）完成

8月 23日 -9月 4日：特別展（第5回）「穂別のカメ化石」

10月 6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

### 平成元(1989) 年

6月 30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7月 18日 -8月 20日：特別展（第6回）「穂別のむかし = 写真で見る穂別の歴史 =」

9月 29日 -10月 6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

### 平成 2(1990) 年

7月 23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8月 18日 -9月 16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」

9月 3日 -5日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

12月 31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

### 平成 3(1991) 年

4月 1日：佐藤稔（第七代）館長就任

4月 28日、29日：入館者10万人突破記念事業

### 平成 4(1992) 年

2月 1日：展示更新工事開始

4月 23日 -25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館

4月 29日：展示更新完了、一般公開再開

### 平成 6(1994) 年

4月 1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）

4月 1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

### 平成 7(1995) 年

- 7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
- 7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
- 10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
- 7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
- 4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
- 6月11日:星功(第十代)館長就任
- 8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
- 1月1日:山田正(第十一代)館長就任
- 5月29日:入館者30万人突破記念事業
- 8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
- 8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
- 8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
- 4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
- 7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
- 7月27日-8月9日:博物館協定会企画展「穂別の化石」
- 8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
- 1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
- 7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
- 7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
- 7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
- 3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
- 7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
- 10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
- 4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
- 7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
- 7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
- 11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
- 7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
- 2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」

## 施設の概要

### 【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

### 【町立博物館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常設展示室	372.88m <sup>2</sup>
特別展示室	99.08m <sup>2</sup>
収蔵庫	86.56m <sup>2</sup>
事務室	40.50m <sup>2</sup>
研究室	31.50m <sup>2</sup>
整理室	29.92m <sup>2</sup>
学習展示室	184.75m <sup>2</sup>
書庫	35.05m <sup>2</sup>
共用部門	219.76m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

#### 〔総事業費〕

362,165,000 円

#### 〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

### 【かせき学習館】

#### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事務室	56.70m <sup>2</sup>
作業室	56.70m <sup>2</sup>
書庫	14.04m <sup>2</sup>
レプリカ室	12.15m <sup>2</sup>
処 理 室	12.15m <sup>2</sup>
展示物保管庫	162.00m <sup>2</sup>
共用部門	12.15m <sup>2</sup>

#### 〔工 期〕

平成 7 年度

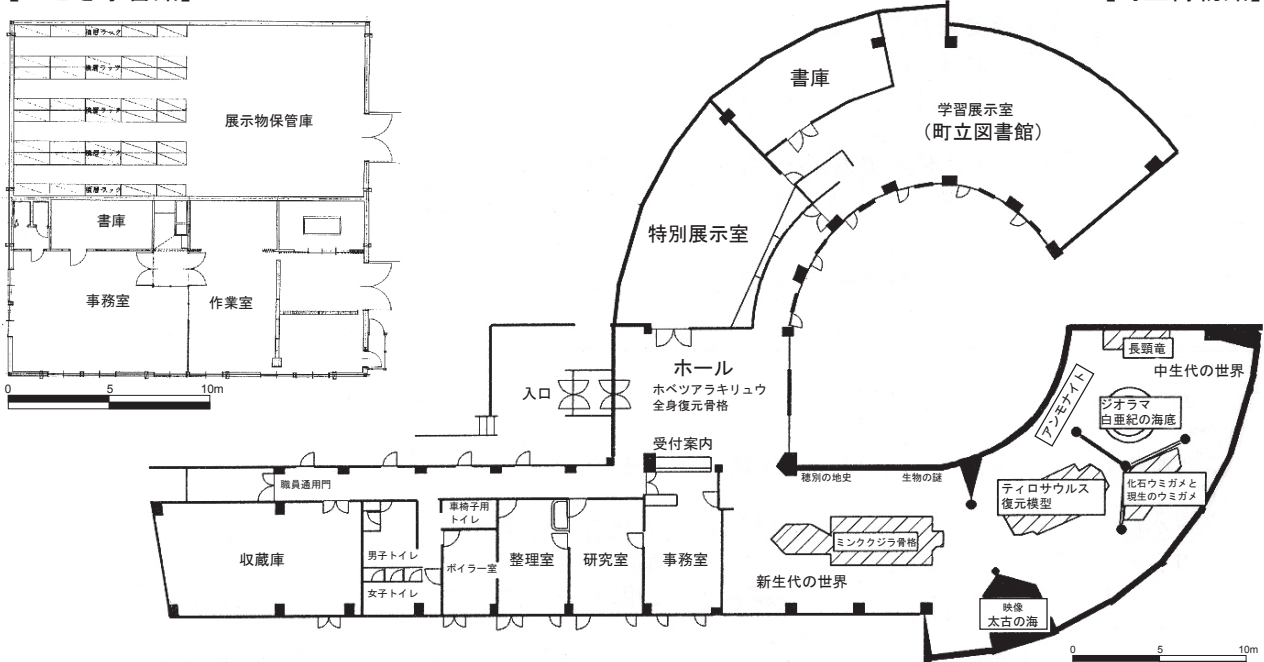
#### 〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

## 施設平面図

### 【かせき学習館】

### 【町立博物館】



## 展示活動

### I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

#### 【常設展示の変更】

平成 21(2009) 年 4 月 1 日 岩石標本 (8 点) を追加した。

平成 21(2009) 年 6 月 27 日 クジラ化石 (HMG-1475) を追加した。

#### 【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	13	297
		爬虫類 (長頸竜 14 <sup>*</sup> 、モササウルス 8 <sup>*</sup> 、カメ 6 <sup>*</sup> 、他 2)	30	
		哺乳類 (クジラ 8、デスマスチルス 2 <sup>*</sup> 、他 10)	20	
	その他動物	軟体動物 (頭足類 102、腹足類 31、斧足類 54、他 3)	190	
		その他 (甲殻類 10、その他 9)	19	
	植物		23	
生痕		2		
現生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	20
		哺乳類 (クジラ 5、鯨脚類 1、その他 2 <sup>*</sup> )	8	
	その他動物	軟体動物 (頭足類) 3、甲殻類 1、その他 4	8	
	植物		1	
復元模型	脊椎動物	爬虫類 4 (長頸竜 2、モササウルス 1、カメ 1)、哺乳類 1	5	5
その他	岩石標本等		36	36
合計				358

\*: レプリカ含む (2010 年 3 月 31 日現在)

### II 特別展示

#### 【特別展】(第 29 回)「穂別海竜博物館 - 穂別を泳いでいた海竜たち -」

: 平成 21(2009) 年 7 月 18 日 -9 月 30 日

恐竜時代に海だった穂別を泳いでいた海竜 (クビナガリュウ、モササウルス、ウミガメ) について紹介した。泳ぎ方や食性について、実物化石を見ながら理解してもらうことを目的とした。

展示協力: 三笠市立博物館、沼田町教育委員会

見学者数: 4,752 人 (期間中入館者 4,741 人 + 名簿記載者のうち穂別在住 11 人)

関連事業: 普及講演会「中生代の海生爬虫類 - 恐竜時代の海の生き物 -」(8/22) (後述「教育普及活動」参照)

#### 【特別展】(第 30 回)「北海道アンモナイト図鑑」: 平成 22(2010) 年 2 月 6 日 -5 月 30 日

穂別地域周辺から採集された標本を中心に、北海道産アンモナイト 67 種 136 点を展示し、それぞれの特徴や生息時代について実物化石と解説シートにて紹介した。

展示協力: 新ひだか町静内郷土館

見学者数: 398 人 (当年度分)

### Ⅲ 年間入館者数

(単位：人)

分類	平成 17 年度 (2005)	平成 18 年度 (2006)	平成 19 年度 (2007)	平成 20 年度 (2008)	平成 21 年度 (2009)
個人	一般	6,843	6,191	6,280	6,661
	学生	2,963	2,746	2,866	3,106
団体	一般	691	520	289	322
	学生	715	931	534	764
計	13,284	11,212	10,388	9,969	10,242
幼児	1,636	1,442	1,741	1,574	1,373
合計	14,920	12,654	12,129	11,543	11,615

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。

団体：10名以上 一般：高校生より上 学生：小学生～高校生 幼児：小学生未満（無料）

### 広報活動

#### 【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A 4 版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。町の広報誌とともに町内全戸へ配布。

293 号<平成 21(2009) 年 4 月>：「今年の博物館は海竜を紹介しします／平取町で見つかったクジラ化石

294 号<平成 21(2009) 年 5 月>：「平成 20 年度寄贈資料／新しい普及員から」

295 号<平成 21(2009) 年 6 月>：「穂別を泳いだ海竜たち／GWの化石体験コーナー」

296 号<平成 21(2009) 年 7 月>：「穂別海竜博物館－穂別を泳いでいた海竜たち－／アンモナイト探検隊」

297 号<平成 21(2009) 年 8 月>：「穂別・三笠・沼田のモササウルス 公開中／レプリカ アクセサリーづくり はじめました」

298 号<平成 21(2009) 年 9 月>：「普及講演会 中生代の海生爬虫類－恐竜時代の海の生き物－／石割り化石さがして珍しい化石が出ました」

299 号<平成 21(2009) 年 10 月>：「秋の企画展 穂別の生き物写真展／白亜紀のウミガメ化石、クリーニング中」

300 号<平成 21(2009) 年 11 月>：「今年、見つかった骨化石（白亜紀）／秋の企画展 穂別の生き物写真展 開催中」

301 号<平成 21(2009) 年 12 月>：「平成 22 年はメソダームケリス発見 30 年／アンモナイトの秘密 1」

302 号<平成 22(2010) 年 1 月>：「平成 22 年（2010 年）は寅年（虎・トラ）／アンモナイトの秘密 2・学名散歩 1」

303 号<平成 22(2010) 年 2 月>：「穂別博物館 2010 春季特別展 北海道アンモナイト図鑑／ホベツアラキリュウ、おたる水族館に登場！・学名散歩 2」

304 号<平成 22(2010) 年 3 月>：「ウミガメのはなし 1／アンモナイトの秘密 3・学名散歩 3」

#### 【博物館ホームページ】

行事予定を中心に、内容を随時更新している。

<http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan>

#### 【新聞等掲載】

【北海道新聞 苫小牧圏「とまにち博物誌」】

平成 21(2009) 年 4 月 28 日：「平取を泳いだクジラ -1600 万年前の化石発見-」（24 回目）

平成 21(2009) 年 9 月 29 日：「白亜紀のウミガメ化石 -道内 半数穂別で発見-」（25 回目）

平成 22 年（2010）年 3 月 30 日：「むかわ町穂別の化石 -生命史を今に伝える-」（26 回目）

【北海道新聞 PR 誌「道新ポケットブック」】

平成 22(2010) 年 3 月号：「北海道 園と館めぐり」

#### 【広告等掲載】

【北海道じゃらん】（リクルート北海道じゃらん）

平成 21(2009) 年：4 月号、5 月号、6 月号、7 月号、8 月号、9 月号

#### 【テレビ放映】

【NHK】

平成 21(2009) 年 7 月 11 日「おはよう北海道 ぶらり見てある記」

## 普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

### I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

#### 【特別展】

※見学者数は、期間中の博物館入館者数と、特別展のみの見学と考えられる地域住民（穂別地区住民：会場に設置した見学者名簿から判別）の人数の合計

特別展（第29回）「穂別海竜博物館 - 穂別を泳いでいた海竜たち -」

＜平成21(2009)年7月18日-9月30日＞：見学者4,752人

特別展（第30回）「北海道アンモナイト図鑑」＜平成22(2010)年2月6日-5月30日＞

#### 【マイ・ミュージアム（企画展）】

特別展示室を活用することで、町民一人一人に「自分たち町民の博物館」として親しみを持ってもらうことをめざす。町民の作品やコレクション、当館で保管する資料を展示し、お互いに見て楽しむ活動とすることが目的。

見学者数は、期間中の博物館入館者数と、特別展のみの見学と考えられる地域住民（穂別地区住民：会場に設置した見学者名簿から判別）の人数の合計

第20回：春の企画展「穂別のいろいろな化石」

＜平成21(2009)年4月25日-6月7日＞

穂別地区で発見された化石を、博物館収蔵資料を用いて種類別に説明。過去の海にも現在と同様に多様な生物が生息していたことを紹介。平取産クジラ化石（HMG-1475）を初公開した。子ども向けに恐竜コーナーを設置した。

見学者2,330人（内、穂別地区61人）

第21回：秋の企画展「穂別の生き物 写真展」

＜平成21(2009)年10月31日-12月6日＞

山に囲まれた穂別地区の生き物たちについて写真で紹介した。哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫、カタツムリ、キノコ、コケ類、樹木や草花など多様な生物を紹介した。

見学者128人（内、穂別地区16人）

#### 【町民文化祭】

第53回穂別地区町民文化祭へ出展

「穂別の生き物 写真展」

＜平成21(2009)年10月23日-25日＞

秋の企画展「穂別の生き物 写真展」の内容の一部、

事前に公開した。

#### 【普及講演会】

「中生代の海生爬虫類 - 恐竜時代の海の生き物 -」

第一線の研究者および当館職員により、穂別地域の白亜紀海棲爬虫類化石および海生生物について分かりやすく紹介した。特別展「穂別海竜博物館」(7/18-9/30)の関連事業。

開催：平成21(2009)年8月22日 13:30-16:00（むかわ町 穂別町民センター）

講演者：平山廉（早稲田大学教授）、櫻井和彦（当館学芸員）、西村智弘（当館普及員）

後援：むかわ町立穂別博物館協力会

参加者：20人

#### 【化石採集会】

町内外の小学生以上を対象に、化石の採集を通じて穂別の化石や当館の活動について知ってもらう。展示見学と合わせて、観覧料（「運営」を参照）と体験参加料（一人100円）を徴収。定員20人。

参加人数計：58人

第1回＜平成21(2009)年7月25日＞＜展示見学・化石クリーニング・レプリカ作り（雨天メニュー）＞（幼1・小8・大10）

第2回＜平成21(2009)年9月13日＞＜展示見学・化石採集（学習用地）＞（小9・大13）

第3回＜平成21(2009)年10月10日＞＜展示見学・化石採集（学習用地）＞（幼2・小5・大10）

#### 【化石クリーニング実習】

2時間ほどかけて丁寧に化石クリーニングをする。観覧料の他に体験参加料（一人100円）を徴収。定員15人とし、参加者を事前に募集した。かせき学習館で実施。10:00-12:00。参加人数計：11人

第1回＜平成21(2009)年8月9日＞：4人

第2回＜平成21(2009)年8月16日＞：7人

#### 【化石体験】

＜実施内容＞

化石クリーニング体験：ハンマーとタガネを使って、石の中から化石を取り出す。博物館入口横の「化石の洞窟」、かせき学習館で実施。10:00-15:00。

化石レプリカづくり：シリコン型に石こうを流し込

み、アンモナイトのレプリカを作成する。かせき学習館で実施。10:00-15:00。

レプリカアクセサリーづくり：自由樹脂プラスチックを用いたアクセサリーの作成。アンモナイトストラップかサンダルアクセサリーのどちらかが作成できる。7/26 から化石レプリカづくりと並行して実施。

石割り化石さがし：学習用地で採集されたノジュールをハンマーで割り、化石を探す体験。博物館の前庭で実施した。15:30-16:00。

<開催日数・参加者総数>

開催日数：46 日間。

参加者総数：のべ1,702 人。

化石クリーニング体験参加総数：776 人。

化石レプリカづくり参加総数：429 人。

レプリカアクセサリーづくり参加総数：252 人。

石割り化石さがし参加総数：245 人。

<内訳>

#### ①化石体験コーナー

5・6・9月の毎週日曜日、7・8月の毎週土・日曜日に、博物館来館者を対象に体験コーナーを実施した。5・6・9月の日曜日は化石クリーニング体験とレプリカづくりを週替わりで実施、7・8月の土曜日は化石クリーニング体験、日曜日はレプリカづくりを実施した。7/26 以降はレプリカづくりと並行してレプリカアクセサリーづくりを実施した。

化石クリーニング体験：14 日間実施。318 人。

化石レプリカづくり：15 日間実施。356 人。

レプリカアクセサリー：8 日間実施。171 人。

#### ②GWの体験コーナー

5月の大型連休（GW）に合わせて、化石クリーニング体験、石割り化石さがし、学芸員による展示案内を実施した。平成21(2009)年5月2日-6日。

化石クリーニング体験（5/2-6）：259 人。

石割り化石さがし（5/3-5）：108 人。

学芸員による展示案内（5/3-5）：61 人。

#### ③夏休み自由研究対応

夏休みの自由研究対応として、化石体験コーナーや学芸員による自由研究対応コーナーを開催した。観覧料のみで参加可能とした。「交流人口拡大小イベント」の一環（後記）。平成21(2009)年8月3-5日。

化石クリーニング：106 人。

石割り化石さがし：85 人。

学芸員対応コーナー：7 人。

#### ④キャンプ場でレプリカ作り

穂別キャンプ場でレプリカづくりとレプリカアクセ

サリーづくりを実施した。平成21(2009)年8月8日。

レプリカづくり：8 人。

レプリカアクセサリーづくり：25 人。

#### ⑤化石まつり 秋

9月の大型連休に、化石体験コーナーを開催した。平成21(2009)年9月21日-23日。

化石クリーニング（9/20、22）：93 人。

レプリカづくり（9/21、23）：65 人。

レプリカアクセサリーづくり（9/21、23）：56 人。

石割り化石さがし（9/21-23）：52 人。

#### 【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。景品はオリジナルシール。

化石が語る絵物語：穂別の化石を紹介する、小さな塗り絵シート（2種類）。

ミニジオラマ（クビナガリュウの海）：着色・切り抜いて、自分で作成するジオラマの型紙。穂別の化石が題材。

パズル「ホッピーくんとおともだち」：幼児向けパズル。

## Ⅱ その他事業

#### 【運営協力など】

平成21(2009)年10月

21日：ほべつセッション<講演「クビナガリュウとともに」>（大18）（北海道大学）

平成21(2009)年11月

8日：日高山脈館「石と化石の鑑定会」（講師）（日高山脈館）

平成22(2010)年1月

30日-2月14日：おたる水族館冬期営業特別企画「巨大クビナガリュウ現る！-太古の海をのぞいてみよう」（展示協力）（小樽市 おたる水族館）

#### 【出前講座】

平成21(2009)年5月

13日：ことぶき学級（第1回集合学習）<講演「穂別の化石」：櫻井学芸員>（大56）（穂別町民センター）



平成 21(2009) 年 6 月

16 日:むかわ町高齢者大学(6 月基本講座) <講演「博物館と穂別の化石」: 櫻井学芸員 > (大 69)  
(四季の館)

25 日: わんぱく放課後教室 <レプリカ作り・化石の話 > (小 19) (鶴川中央小学校)

平成 21(2009) 年 10 月

22 日: 生田小学校全学年(クラブ活動) <化石クリーニング・レプリカづくり > (小 9・大 3)

平成 21(2009) 年 12 月

1 日: 日胆 J A フレッシュャーミズセミナー <レプリカ作り・レプリカアクセサリー作り > (大 30) (穂別農業センター)

### 【交流人口拡大小イベント】

穂別地区を訪れる交流人口を拡大することを目指し、穂別観光協会が中心となって 5 月 -9 月に毎月小イベントを開催した。当館が直接関与したのは下記の 2 件である。

### アンモナイト探検隊

化石採集と博物館・地球体験館の見学。9:30-15:00。参加者を事前に募集し、有料(施設見学料金、昼食代、保険料等)で実施した。6 月・9 月の計 2 回。

第 1 回: 平成 21(2009) 年 6 月 14 日 <展示見学・化石クリーニング・レプリカ作り > (幼 4・小 11・大 16) ※雨天メニュー

第 2 回: 平成 21(2009) 年 9 月 27 日 <化石採集 2 カ所、博物館・体験館見学 > (31 人)

### 夏休み自由研究対応

夏休みの自由研究対応コーナーを開催した。平成 21(2009) 年 8 月 3-5 日。詳細は前記。

## Ⅲ 団体等の利用

### Ⅲ - 1 町内団体等の利用

学芸員等が対応したものは <> で内容を示した

#### 【町内学校・教育関係団体】

平成 21(2009) 年 4 月

28 日: 富内小学校(生活科) <展示見学 > (小 1・大 1)

平成 21(2009) 年 5 月

21 日: 穂別小学校 4 年生(総合学習) <展示見学 > (小 21・大 2)

28 日: むかわ町教育研究会(理科部会) <展示見学・化石採集・岩石観察 > (大 10)

平成 21(2009) 年 6 月

18 日: 穂別小学校 4 年生(総合学習) <化石クリーニング > (小 19・大 2)

24 日: 鶴川高校 2 年生(理科) <化石クリーニング > (小 45)

26 日: 富内小学校(1-5 年) <化石採集(富内) > (小 12・大 3)

26 日: 穂別小学校 4 年生(総合学習) <化石採集(学習用地) > (小 20・大 2)

平成 21(2009) 年 7 月

1 日: 穂別小学校 4 年生(総合学習) <展示見学・レプリカづくり > (小 21・大 2)

19 日: 穂別高校穂星寮寮生家族 <展示見学 > (大 12)

平成 21(2009) 年 9 月

3 日: むかわ町教育研究会(社会) <展示見学・中村記念館見学 > (大 5)

11 日: 仁和中学校(選択理科) <展示見学・化石採集 > (小 5・大 1)

16 日: 仁和中学校(選択理科) <展示見学・化石採集 > (小 5・大 1)

29 日: 仁和中学校(選択理科) <化石クリーニング・レプリカづくり > (小 5)

平成 21(2009) 年 10 月

7 日: 初任者研修「地域研修」 <展示見学・中村記念館見学・化石クリーニング・レプリカづくり > (大 5)

20 日: 穂別高校 1 年(テーマ学習) <展示見学・化石採集 > (小 22・大 2)

29 日: 穂別小学校 2 年(生活科/公共施設の見学) <展示見学 > (小 19・大 2)

平成 21(2009) 年 11 月

6日：穂別小学校4年＜中村記念館見学＞（小21・大2）

11日：鶴川中央小学校4年＜展示見学・企画展示学＞（小43・大2）

17日：穂別小学校4年＜かせき学習館収蔵庫見学ほか＞（小21・大2）

28日：穂別高校事前見学者（町外中学生・家族）＜展示見学＞（小10・大10）

#### 【町内各種団体】

平成21(2009)年6月

4日：中国農業研修生＜展示見学・レプリカづくり＞（大30）

平成21(2009)年7月

26日：むかわ町文京・大成町内会（小4・大19）

平成21(2009)年10月

23日：高齢者大学「書道専科」＜展示見学・中村記念館見学＞（大10）

### Ⅲ-2 町外団体の利用

学芸員等が対応したものは＜＞で内容を示した

#### 【町外学校・教育関係団体】

平成21(2009)年6月

19日：京都大学 前田晴良准教授ほか（大4）

25日：長沼高校＜展示見学＞（小78・大5）

30日：胆振管内高校地域研修＜展示見学＞（大8）

平成21(2009)年7月

15日：厚真中央小学校＜展示見学・化石クリーニング＞（小18・大3）

17日：札幌インターナショナルスクール＜展示見学・化石クリーニング・レプリカ作り＞（小9・大4）

17日：千歳青葉中学校＜展示見学＞（小181・大10）

28日：F E C英語クラブ＜展示見学・レプリカづくり＞（小46・大8）

29日：今金町教育委員会＜展示見学＞（小70・大8）

平成21(2009)年8月

3日：幼児活動研究会株式会社（小60・大8）

6日：キッズラボ帯広校＜展示見学＞（小30・大3）

平成21(2009)年9月

12日：NPO法人 ねおす（小14・大3）

21日：群馬県富岡市「かしの木保育園」研修会＜展示見学＞（大15）

平成21(2009)年10月

2日：門別わかば保育所・双葉保育所（幼47・大7）

6日：富川ひばり幼稚園（年長）（幼42・大4）

7日：富川ひばり幼稚園（年中）（幼55・大4）

8日：富川ひばり幼稚園（年少）（幼29・大4）

22日：胆振東部高等学校長協会研修会＜展示見学＞（大11）

#### 【町外各種団体】

平成21(2009)年4月

29日：千歳化石会＜展示見学＞（小1・大4）  
株式会社 読売旅行（小1・大42）

平成21(2009)年5月

6日：安平法養寺子供会（小25・大4）

21日：株式会社 読売旅行（大45）

23日：真宗子供会＜展示見学＞（小35・大7）

平成21(2009)年6月

7日：株式会社 読売旅行（小1・大44）

13日：株式会社 読売旅行（大31）

22-23日：NHK室蘭放送局スタッフ＜取材協力＞

(大3)

平成 21(2009) 年 7 月

6 日：北広島人材センター (大 17)

7 日：株式会社ドーコン<展示見学> (大 7)

平成 21(2009) 年 8 月

6 日：北海道日本ハムファイターズ マスコット(B  
B) 取材対応<展示見学> (大 3)

平成 21(2009) 年 9 月

3 日：北海道胆振管内商工会連合会<展示見学>(大  
38)

平成 21(2009) 年 10 月

3 日：「北の観光リーダー養成セミナー」受講生<  
展示見学> (大 2)

8 日：第一ツアーリスト (古平福祉会) (大 16)

平成 21(2009) 年 12 月

1 日：J Aフレッシュミズセミナー (総会) <レ  
プリカづくり・アクセサリーづくり> (大 30)

4 日：じゃらん取材<展示見学> (大 2)

5 日：おたる水族館職員<資料借用下見> (大 2)

平成 22(2010) 年 2 月

6 日：観光リーダー研修<展示見学> (大 4)

17 日：おたる水族館職員<展示見学> (大 3)

## 収蔵資料概要（登録資料）

【自然史系登録資料（HMG）】（地質・化石資料） 1,532点  
【自然系登録資料（HMB）】（現生動植物資料） 145点  
【人文系登録資料（HMC）】（民俗・歴史資料） 3,831点

計 5,508点（2010.3.31. 現在）

【町指定文化財】 HMG-1「ホベツアラキリュウ化石骨」：むかわ町指定文化財登録番号第3号

## 資料収集保存活動

### I 寄 贈

（千）：千歳化石会、敬称略

#### 【自然史系資料】（48件・650点）

受入番号：寄贈資料／点数／寄贈者名

2009-001：アンモナイト等／5／阿部利春  
2009-005：化石含有ノジュール／24／阿部利春  
2009-009：アンモナイト／1／平澤准幣（千）  
2009-011：化石含有ノジュール／2／服部義幸（千）  
2009-017：化石含有ノジュール／102／堀田良幸  
2009-018：生痕化石（フナクイムシ）／1／佐川昭（千）  
2009-020：化石含有ノジュール等／113／堀田良幸  
2009-022：化石含有ノジュール／6／鹿島・熊谷・みらい特定建設工事共同企業体  
2009-023：化石含有ノジュール／12／荒木新太郎  
2009-025：化石含有ノジュール／11／菅原昭二  
2009-031：アンモナイト／1／長岡晴道  
2009-032：化石含有ノジュール／32／穂別博物館協力会・穂別博物館  
2009-035：脊椎動物化石（カメ）／1／大和治生  
2009-036：化石含有ノジュール／1／平澤准幣（千）  
2009-037：化石含有ノジュール／9／服部義幸（千）  
2009-038：化石含有ノジュール／1／平澤准幣（千）  
2009-040：アンモナイト等／20／阿部利春  
2009-041：化石含有ノジュール／58／荒木新太郎  
2009-042：脊椎動物化石（カメ）／1／菅原昭二  
2009-043：化石含有ノジュール／1／菅原昭二  
2009-044：化石含有ノジュール／129／堀田良幸  
2009-045：カニ？化石／1／佐藤宏紀  
2009-046：アンモナイト等／15／佐藤幸太郎  
2009-047：魚化石（椎骨）／1／吉田優子  
2009-048：アンモナイト／1／森脇修  
2009-049：アンモナイト等／2／佐々木誠  
2009-050：鞘形類化石／1／中村剛瑠  
2009-052：アンモナイト等／7／阿部利春

2009-053：化石含有ノジュール／16／阿部利春  
2009-054：脊椎動物化石（カメ）／1／平山廉  
2009-056：脊椎動物化石（カメ）／1／平山廉  
2009-057：笠型巻貝／1／菌田哲平  
2009-058：アンモナイト等／2／平山廉  
2009-060：植物化石？／1／平山廉  
2009-071：イノセラムス／1／生田水穂子  
2009-075：サンゴ化石／1／小山明日香  
2009-077：ノジュール／1／狐塚守  
2009-079：アンモナイト・珪化木／2／伊藤キヨ  
2009-081：アンモナイト／1／服部義幸（千）  
2009-082：アンモナイト／1／服部義幸（千）  
2009-083：アンモナイト／1／服部義幸（千）  
2009-084：アンモナイト／1／服部義幸（千）  
2009-085：アンモナイト／2／服部義幸（千）  
2009-086：アンモナイト／2／長谷川浩二  
2009-088：脊椎動物化石／1／堀田良幸  
2009-089：化石含有ノジュール／46／高橋博志  
2008-090：アンモナイト／1／長谷川浩二

#### 【自然系資料】（6件・13点）

2009-026：エゾシカ（ツノ）／1／菅原昭二  
2009-028：キイロスズメバチ／2／鶴野隆司  
2009-061：ミヤマクワガタ／1／菌田哲平  
2009-062：エゾマイマイ殻／2／菌田哲平  
2009-064：カタツムリ等／6／菌田哲平  
2009-087：野鳥の巣／1／横山宏史

#### 【人文系資料】（1件・1点）

2009-073：林業作業用道具／4／加藤敏廣

#### 【その他】（1件・1点）

2009-029：岩石用ハンマー／1／太田昇

## Ⅱ 採 集

### 【自然史系資料】(23件・197点)

化石含有ノジュール、岩石標本等

### 【自然系資料】(11件・26点)

動物標本(骨格標本等)

## Ⅲ 野外調査活動

### 【現地調査】 16回

うち、博物館協力会(協力会)と合同調査: 1回

千歳化石会(千歳)と合同調査: 4回

4月: 8am、19(千歳)、29(千歳)

5月: 15(協力会)、16、30

6月: 20am

7月: 3、4(千歳)

9月: 10、12

10月: 3(千歳)、17am、28、30

11月: 6

## Ⅳ 新規登録資料

登録番号: 資料名/受入番号/寄贈(採集)者名(敬称略)

### 【自然史系資料(HMG)】(化石・地質): 59点

HMG-1482: アンモナイトの顎器/1997-023/笠巻袈裟男・千歳化石会・穂別町立博物館

HMG-1483: アンモナイトの顎器/1998-128/穂別町立博物館

HMG-1484: アンモナイトの顎器/1987-009/地徳力・笠巻袈裟男

HMG-1485: アンモナイト(断面)/2008-057/むかわ町立穂別博物館(下山正美)

HMG-1486: アンモナイト/2008-108/櫻井和彦

HMG-1487: オルソセラス *Orthoceras* sp. (外国産)/2008-109/櫻井和彦

HMG-1488: 長頸竜化石(レプリカ)/1984-001/国府田良樹

HMG-1489: チャート/2000-049/穂別町立博物館

HMG-1490: 蛇紋岩/2000-049/穂別町立博物館

HMG-1491: 緑色片岩/2000-049/穂別町立博物館

HMG-1492: 化石含有砂岩/2001-031/穂別町立博物館

HMG-1493: クロム鉄鉱/1991-012/加藤敏廣

HMG-1494: 石灰岩/2007-040/むかわ町立穂別博物館

HMG-1495: 堆積性蛇紋岩礫岩/2007-044/むかわ町立穂別博物館

HMG-1496: アンモナイト *Jimboiceras planulatiforme*/2002-031/穂別町立博物館

HMG-1497: アンモナイト *Eubostriochoceras* sp./1994-012/三宅俊一

HMG-1498: アンモナイト *Polyptychoceras* sp./1997-007/穂別町立博物館

HMG-1499: イノセラムス *Sphenoceras hetonaiensis*/1995-001/博物館協力会化石部会

HMG-1500: アンモナイト *Mesopuzosia* sp./2007-014/鹿島・熊谷・みらい特定建設工事共同企業体

HMG-1501: イノセラムス *Inoceramus hobetsensis*/2003-046/穂別町立博物館

HMG-1502: ノジュール/2001-029/穂別町立博物館

HMG-1503: 生痕化石/2008-053/むかわ町立穂別博物館

HMG-1504: 生痕化石(フナクイムシ)/1999-033/穂別町立博物館

HMG-1505: 生痕化石/2008-032/むかわ町立穂別博物館

HMG-1506: 珪化木/2008-029/笠巻袈裟男

HMG-1507: 石炭/1998-102/穂別町立博物館

HMG-1508: 植物化石(葉)/2001-033/穂別町立博物館

HMG-1509: 珪化木/2008-027/石崎正行

HMG-1510: スナモグリ化石 *Callianassa?* sp./2008-065/むかわ町立穂別博物館

HMG-1511: 単体サンゴ化石/1998-106/穂別町立博物館

HMG-1512: 単体サンゴ化石/1992-027/只野繁・森田基・地徳力・佐藤稔

HMG-1513: 単体サンゴ化石/1998-118/穂別町立博物館

HMG-1514: ウニ化石/1992-016/地徳力・佐藤稔

HMG-1515: ウミユリ化石/2008-036/むかわ町立穂別博物館

HMG-1516: ウミユリ化石/2008-103/堀田良幸

HMG-1517: ウミユリ化石/2000-072/高橋博志

HMG-1518: 笠型巻貝 *Gigantocapulus giganteus*/2008-030/菅原昭二

HMG-1519: 笠型巻貝 *Gigantocapulus problematicus*/1994-209/千歳化石会

HMG-1520: 二枚貝化石/1995-063/高橋達弥

HMG-1521 : 穂別産デスマスチルス レプリカ  
*Desmostylus japonicus* / 2009-002 (既存資料)

HMG-1522 : アンモナイト *Mesopuzosia yubarensis* /  
1994-193 / 石川勇

HMG-1523 : 生痕化石 (フナクイムシ食痕) / 2009-  
018 / 佐川昭 (千歳化石会)

HMG-1525 : 生痕化石 (フナクイムシ食痕) / 2006-  
061 / むかわ町立穂別博物館協力会

HMG-1526 : カメ化石 / 2009-035 / 大和治生

HMG-1527 : カメ化石 / 2009-042 / 菅原昭二

HMG-1528 : 脊椎動物化石 (詳細未定) / 2009-051 /  
西村智弘

HMG-1529 : カメ化石 / 2006-008 / 古野竹志 (千歳化  
石会)

HMG-1530 : カメ化石 / 2006-018 / 菅原昭二

HMG-1531 : カメ化石 / 2005-073 / 阿部利春

HMG-1532 : 鞘形類 *Naefia* sp. / 2009-050 / 中村剛瑠

HMG-1533 : ウミガメ化石 / 2009-054 / 平山廉 (採集:  
堀田良幸)

HMG-1534 : ウミガメ化石 / 2009-055 / 西村智弘

HMG-1535 : 脊椎動物化石 (詳細未定) / 2009-056 /  
平山廉 (採集: 阿部利春)

HMG-1536 : ウミガメ化石 / 2009-065 / むかわ町立穂  
別博物館 (下山正美)

HMG-1537 : 脊椎動物化石 (詳細未定) / 2009-066 /  
むかわ町立穂別博物館 (櫻井和彦)

HMG-1538 : アンモナイト *Ryuella ryu* / 2009-086(A)  
/ 長谷川浩二

HMG-1539 : アンモナイト *Ryuella ryu* / 2009-086(B)  
/ 長谷川浩二

HMG-1540 : 単体サンゴ化石 / 2009-075 / 小山明日香

HMG-1542 : 脊椎動物化石 (詳細未定) / 2009-088 /  
堀田良幸

**【自然系資料 (HMB)】** (現生生物) : 4 点

HMB-142 : イトマキヒトデ *Asterina pectinifera* / 2009-  
003 / 櫻井和彦

HMB-143 : エゾマイマイ *Ezohelix gainesi* / 2009-004  
/ 櫻井和彦

HMB-144 : ハシボソガラス *Corvus corone* / 2009-033  
/ むかわ町立穂別博物館

HMB-145 : キタキツネ *Vulpes vulpes schrencki* / 2009-  
080 / むかわ町立穂別博物館

**【人文系資料 (HMC)】** (生活・歴史等) : 0 点

## V 資料の貸出・提供

### 【研究】

HMG-366, 367, 1053, 1054, 1055 (ウミガメ化石 5 点):  
早稲田大学 平山廉博士 (旧所属 帝京平成大学)  
<平成 6(1994) 年 8 月 17 日 - 平成 22(2010) 年 3 月  
31 日>

HMG-1063, 1064 (ウミガメ化石 2 点): 早稲田大  
学 平山廉博士 (旧所属 帝京平成大学) <平成  
7(1995) 年 5 月 11 日 - 平成 22(2010) 年 3 月 31 日>

HMG-911, 936 (アンモナイト 2 点): 工業技術院地質  
調査所地質標本館 利光誠一博士 <平成 9(1997) 年  
6 月 27 日 - 平成 22(2010) 年 3 月 31 日>

HMG-1443, 1444 (カサガイ付きアンモナイト 2 点):  
国立科学博物館 加瀬友喜博士 <平成 21(2009) 年 7  
月 9 日 - 平成 22(2010) 年 3 月 31 日>

### 【展示】

HMG-842 (アンモナイト)・HMG-883 (イノセラムス):  
穂別地球体験館 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 - 平成  
22(2010) 年 3 月 31 日>

HMB-2, 3, 4, 7, 9, 11, 12, 17, 19, 21, 22, 25,  
26, 29, 30, 40, 41, 43, 98, 99 (剥製標本 20 点):  
むかわ町立穂別小学校 <平成 7(1995) 年 4 月 1 日 -  
平成 22(2010) 年 3 月 31 日>

HMB-36, 47 (剥製標本 2 点), HMC-2797, 2798,  
2799, 2821 (ジオラマ 4 点): むかわ町立穂別小学  
校 <平成 8(1996) 年 6 月 14 日 - 平成 22(2010) 年 3  
月 31 日>

HMG-12 レプリカ (穂別産モササウルス化石右前肢一  
式、縁辺歯 1 点): 谷本正浩 <平成 21(2009) 年 10  
月 1 日 - 12 月 25 日>

動物写真 (登録番号なし 1 点): 苫小牧市博物館 <平  
成 22(2010) 年 2 月 6 日 - 3 月 21 日>

### 【出版・放送等】

古写真 (穂別炭鉱の写真: 3 - 4 点提供): クリエイティ  
ブネクス (NHK 総合テレビ) <平成 21(2009) 年 9  
月 27 日予定 - 先方の都合により中止>

大正琴 (HMG-3332) 写真提供: 社団法人 大正琴協  
会 <平成 21(2009) 年 11 月 18 日>

I 調査研究活動

【研究者等の来館】

平成 21(2009) 年 6 月

1-14 日：重田康成（国立科学博物館研究主幹）（西村普及員とアンモナイト共同調査）

19 日：前田晴良（京都大学理学部 准教授）ほか学生 3 人

平成 21(2009) 年 8 月

18-20 日：生形貴男（静岡大学理学部 准教授）（西村普及員とイノセラムスの共同調査）

20-28 日：平山廉（早稲田大学教授）・藪田哲平（茨城大学理学部）（穂別産ウミガメ化石の調査）

平成 21(2009) 年 9 月

16-17 日：中谷大輔・大塚健斗（鹿児島大学大学院）（穂別産長頸竜化石の調査）

平成 21(2009) 年 11 月

19 日：小林快次（北海道大学総合博物館准教授）、ジェイコブス、L. L.（北海道大学特任教授）、ほか 1 名（展示資料の観察）

II 刊行物

【むかわ町立穂別博物館研究報告】

ISSN 0912-7798

第 25 号、34 頁：平成 22(2010) 年 3 月 31 日発行

<掲載内容>

普及講演会「中生代の海生爬虫類 - 恐竜時代の海の生き物 -」 実施報告

平山廉：講演 中生代の海生爬虫類 p. 4-23.

櫻井和彦：報告 1 穂別の脊椎動物化石 p. 24-29.

西村智弘：報告 2 穂別のアンモナイト p. 30-34.

【むかわ町立穂別博物館館報】

ISSN 2185-1824

第 26 号（平成 20<2008> 年度版）、17 頁：

平成 22(2010) 年 3 月発行

本号は印刷物（冊子体）ではなく CD 形式で発行した。

III 翻訳

前田晴良・西村智弘，2009：「植物と動物の多様性」，進化（Barton, N.H. ほか著），p. 275-304. メディカル・サイエンス・インターナショナル，[分担]

IV 学会・大会・研修会等への参加

【学会・研修会等】

[日本古生物学会]

第 159 回例会：平成 22(2010) 年 1 月 29 日 -31 日（滋賀県立琵琶湖博物館）（櫻井学芸員参加）

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

第 48 回北海道博物館大会：欠席

学芸職員部会 総会・研修会：欠席

[日胆地区博物館等連絡協議会]

総会（様似町）

平成 21(2009) 年 5 月 12 日：櫻井学芸員出席

職員研修会：欠席

館長会議・拡大役員会（苫小牧市）

平成 22(2010) 年 3 月 3 日：櫻井学芸員出席（理事）

[ミュージアムマネジメント研究会]

研修会：欠席

V 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

学習用地水洗：6 月 4 日

野外調査：1 回（5 月 15 日）

寄贈資料：3 件・109 点

【千歳化石会】

野外調査：4 回（4 月 19 日、4 月 29 日、7 月 4 日、10 月 3 日）

寄贈資料：11 件・21 点

総会：11 月 23 日

I 行事等

【博物館協議会】

平成 21(2009) 年 12 月 2 日 : 5 名出席 (成立)

【中央生活館の展示】

収蔵している民族資料の展示

【交流人口拡大小イベント】

穂別観光協会が中心となり、穂別総合支所の関連各課・施設、穂別地区の関連機関が合同で実施した。平成 20 年度の「地域資源活用事業 検討会」から発展して、穂別地区を訪れる交流人口の拡大へ向けて 5 月 - 9 月に毎月小イベントを開催した。

当館が直接関与したのは下記の 2 件である。

「アンモナイト探検隊」(6 月・9 月)

「夏休み自由研究対応」(8 月)

詳細については「教育普及活動」の章を参照。

【研修の受入れ】

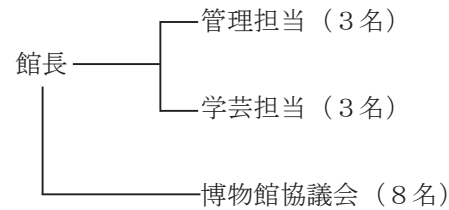
[穂別高校職場体験]

平成 21(2009) 年 6 月 17-18 日 : 2 年生 1 名

[穂別中学校インターンシップ]

平成 21(2009) 年 8 月 1-2 日 : 2 年生 2 名

II 組 織



【博物館協議会委員】 <平成 21(2009) 年度>

平成 21(2009) 年 4 月 1 日 - 平成 22(2010) 年 3 月 31 日

会 長 梅津讓一

副会長 佐藤稔

委 員 内海由紀江

委 員 鎌田政博

委 員 菊地啓允

委 員 小石川武美

委 員 高橋義道

委 員 只野繁

【博物館職員】 <平成 21(2009) 年度>

<館 長> 柏恵一

<管理担当職員>

臨時職員 中島美香

臨時職員 多村こゆる

<学芸担当職員>

学芸員 櫻井和彦

普及員 (嘱託職員) 西村智弘

学芸補助員 (臨時職員) 下山正美



### Ⅲ 利用状況

#### 【常設展示観覧者】

平成 21(2009) 年 4 月～平成 22(2010) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	371	130	501	83	584	26
5	1,274	629	1,903	222	2,125	26
6	451	199	650	53	703	25
7	800	668	1,468	147	1,615	31
8	1,572	948	2,518	300	2,818	31
9	904	372	1,276	171	1,447	25
10	572	186	758	271	1,029	26
11	442	184	626	12	638	23
12	41	16	57	11	68	25
1	31	52	83	8	91	22
2	45	11	56	16	72	23
3	246	100	346	79	425	25
計	6,749	3,495	10,242	1,373	11,615	308

(単位：人・日)

#### 【博物館特定入館日】

<博物館開館記念日関連事業>

7月20日の開館記念日に関連して、平成21(2009)年7月20日(月)～7月26日(日)の7日間を町民無料入館の日とした。

<国際博物館の日>

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977年)にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5月18日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。(2009年度については当日が休館日の月曜日であるため前日に対応した。)

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

実施日	行事名	一般	学生	計
09.5.17	国際博物館の日	1	3	4
7.20-26	博物館開館記念日	53	9	62
9.21	敬老の日	3	0	3
11.3	文化の日	6	4	10
11.23	勤労感謝の日	5	3	8
10.1.11	成人の日	2	0	2
計	計12日	70	19	89

(単位：人)

#### 【学校週五日制関連事業】

<町内児童生徒に対する入館料減免>

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせて、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成21年度の利用者数：206人(個人見学のみ)

### Ⅳ 歳入

区分	有料入館者数	使用料
一般	個人	4,147
	団体	427
	割引	1,793
学生	個人	1,609
	団体	651
	割引	771
小計	9,398	1,920
緒収入	物品販売代	10
	私用電話料	1
	体験学習料	27
小計		38
合計		1,958

(単位：人・千円)

### Ⅴ 歳出

費目	金額
報酬	2,062
共済費	539
賃金	2,857
報償費	150
旅費	111
需用費	4,601
役務費	332
委託料	1,386
使用料及び賃借料	548
原材料費	71
負担金補助及び交付金	38
備品購入費	0
博物館費合計	12,695

(単位：千円)

## VI 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
  - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
  - ・12月31日-1月5日。
- \*ただし、7、8月は休館日なし。

### 【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

### 【減免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

（公益目的）

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

## むかわ町立穂別博物館館報

第27号

平成21（2009）年度版

発行 2011年3月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141